



ニセコリゾートにおける問題

1. 救急要請件数が増加し、地域の救急医療が逼迫
2. スキー場からの救急要請の約80%が軽傷者
3. 旅行保険に加入していない患者
4. Physioからのトラブルケース



2023/ 12/2 ~ 2024/3/20 NIC救急車/VAN 出動件数

ひらふパトロール 山本雅也様より

NICと公的救急車の要請件数

- NIC 169件
- 公的救急車 76件

ひらふスキー場からの搬送先

- NIC 191件
- 倶知安厚生病院 99件（救急外来17:00以降も含む）

不要な公的救急車要請が大幅に減少した！少なくとも169件以上！
倶知安厚生病院よりも受け入れ件数が多い！



北海道新聞 2024年4月1日

救急出動最多2347件 外国人搬送が急増

北海道新聞 石狩 天気 | 占い

トップ | 地域 | 社会 | 経済 | 政治 | スポーツ | 暮らし文化 | オピニオン

救急出動最多2347件 23年の羊蹄山ろく 前年比219件増 外国人搬送が急増

舟崎雅人 会員限定記事

2024年4月1日 18:16

あとで読む



2/2枚





【倶知安】羊蹄山ろく消防組合（本部・倶知安町）の2023年の救急出動が、前年比219件増の2347件となり、19年実績（2144件）を超えて過去最多を更新した。スキー、スノーボード事故や急病など外国人の救急搬送が大きく増えた。冬期間は救急車がフル回転の時もあり、世界的なニセコ人気の高まりに比例するように地域の救急体制が逼迫（ひっばく）しつつある。

倶知安、京極、喜茂別、留寿都、蘭越、真狩、ニセコの7町村を管轄する同組合本部によると、23年の救急出動は、これまで最多だった19年から203件増え、1973年に同組合が設立されてから最も多かった。

2023年のスキー、スノーボード事故による救急出動は前年比144件増の279件。このうち、外国人が164件で全体の58.8%を占めた。急病などを含めた外国人搬送の総件数も前年の47件から249件に急増し、新型コロナ流行前の19年実績（240件）を超えた。

倶知安町のニセコ東急グラン・ヒラフスキー場と、ニセコHANAZONOリゾートへの救急出動には通常、最も近い倶知安消防署から向かうが、救急車が既に別の現場へ行っていたため、京極支署から回ったケースが9件あった。また、同様の状況から、通常はニセコ支署の救急車が向かうニセコアンヌプリ国際スキー場（ニセコ町）からの救急出動要請に、蘭越支署から駆けつけたことも10件あった。

同組合が消防署や各支署に配備している救急車は、予備車も含めて計6台。ニセコ人気で外国人搬送が急増し、「今季のスキー、スノーボードの救急出動は23年をさらに上回りそう」（同組合本部）との見通しにもかかわらず、救急車の直近の新たな配備は20年以上前の02年までさかのぼる。

救急出動の多くは住民の急病で、23年も1107件と全体の約半分を占めた。今後こうした要請に迅速に responding していくためには、救急体制の増強も想定されるが、同本部によると、救急車1台を配備するのに伴い、救急隊員が新たに最低12人必要になるなど課題は多い。

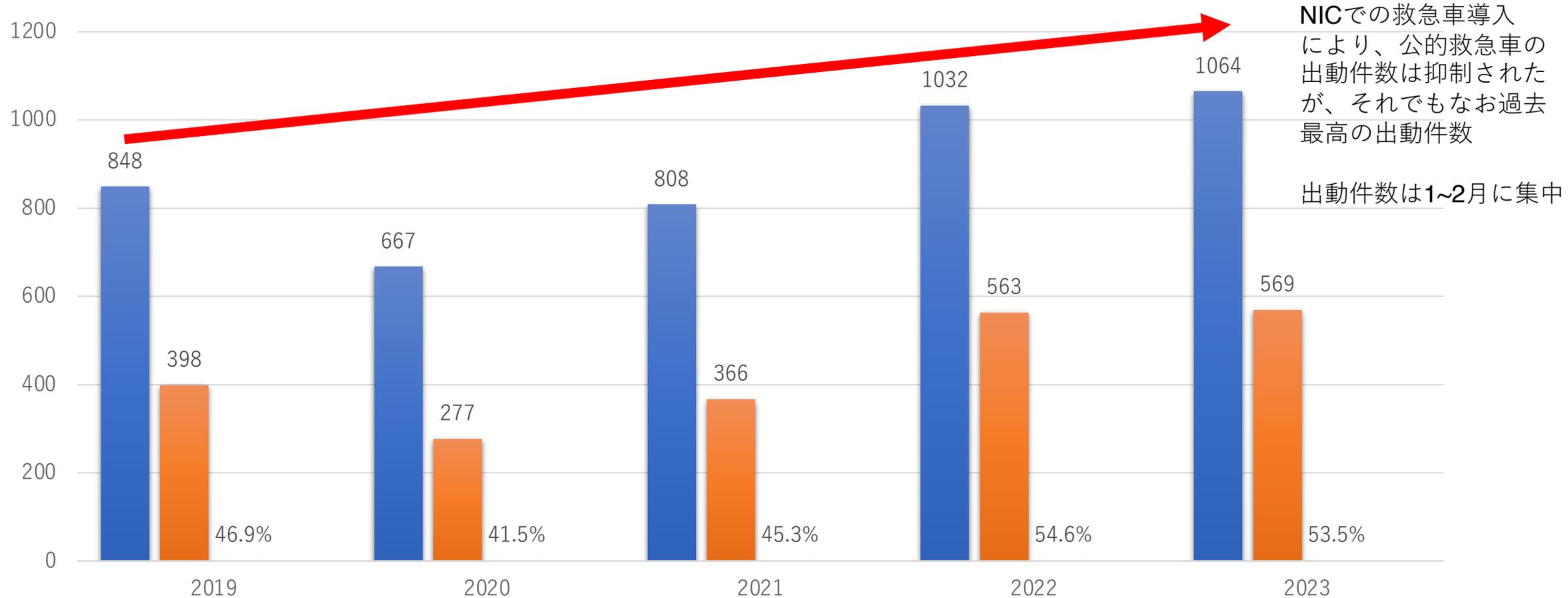
2023年度
“過去最高”
“地域救急体制が逼迫”
“救急車は簡単に増やせない”

スキー・スノーボード事故
救急出動 279件
外国人 164件（全体の59%）

急病など
救急出動 249件



2023-24シーズンにおける 救急搬送件数（青）と軽症者数（オレンジ）

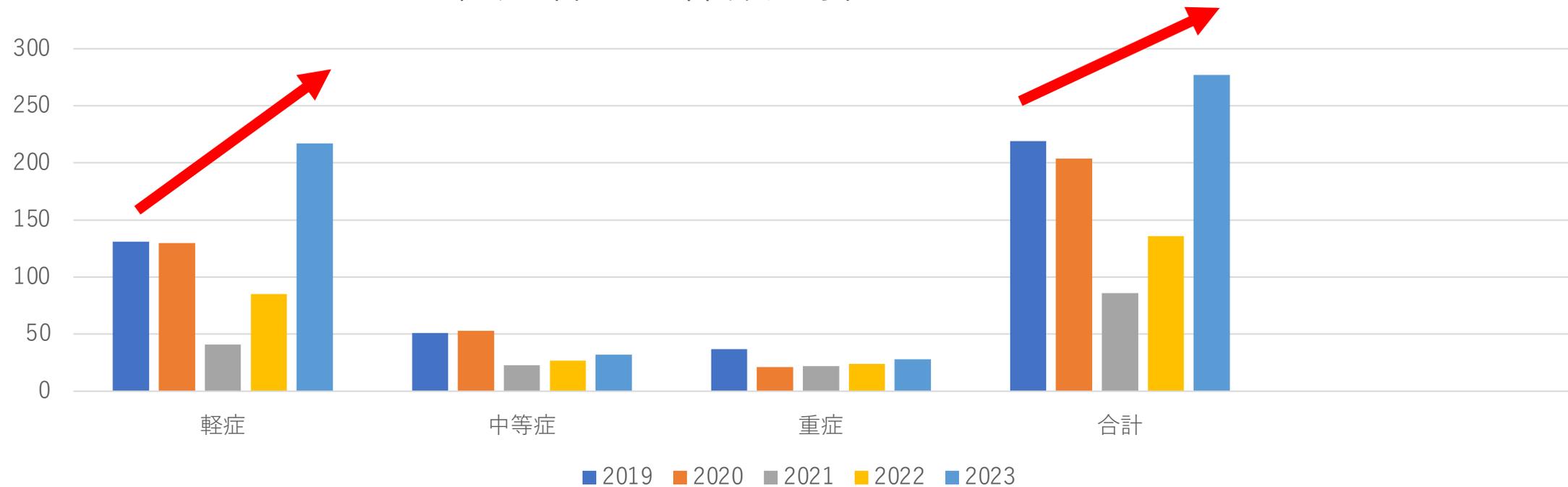


(2023年12月1日～2024年5月15日)

羊蹄山ろく消防組合消防本部 救急係長より

スキー・スノーボード外傷 救急搬送件数と重症度

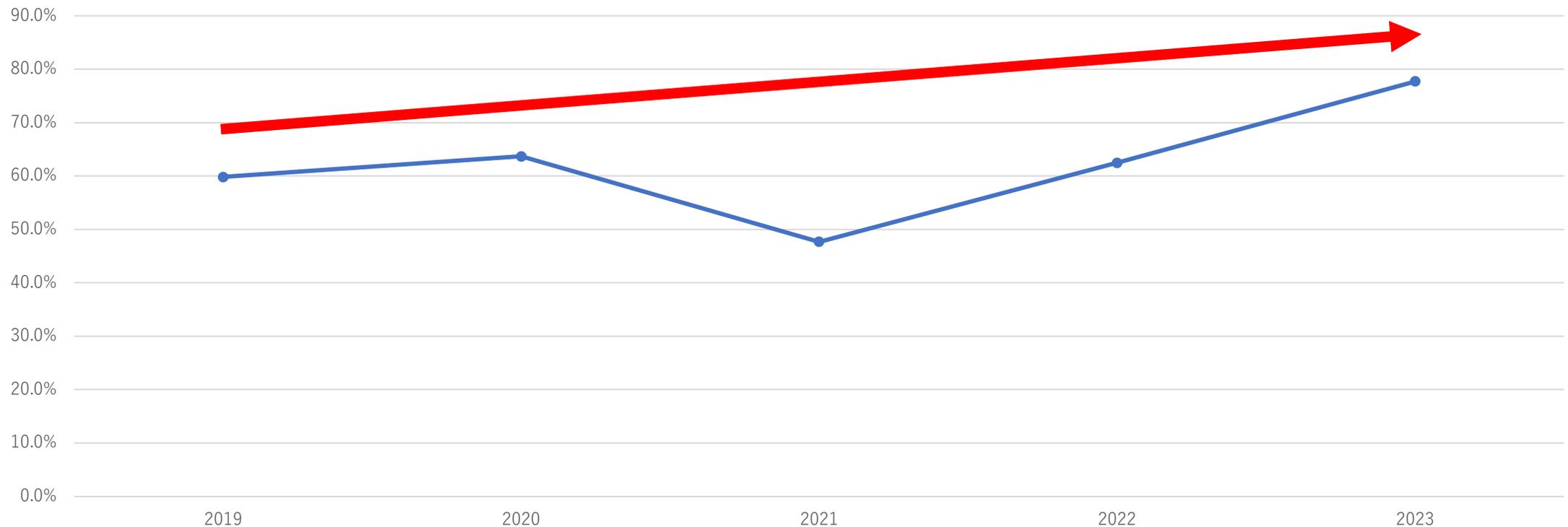
スキー・スノーボードによる軽症者の救急搬送が増加
軽症者が全体数を押し上げている





スキー・スノーボード外傷で救急搬送 される約80%が軽症者

本当に救急車が必要なのだろうか？





当院の問題 = キャパ越え

<物理的問題>

- **待合室・診察室が不足**
 - 初診患者が多い、しかも外国人、仲間・家族など一緒に受診
 - 脱臼・骨折の整復、シーネ固定、皮膚縫合、松葉杖の使用方法 など手間暇かかる
 - 中等症/重症も隠れている
- **駐車場のスペースが不足**
 - 送迎車・タクシー・救急車が近くに寄れない

<マンパワー不足>

- **英語対応が可能な総合診療/救急医/看護師をの人材確保が困難**
 - 高額な報酬
 - 高額な移動費
 - 高額な宿泊施設
 - 高額な交通費と長い移動時間
 - 子どもを預ける施設不足（シーズナルスタッフ用）
- 師井が年末年始土日を含めて 毎日診療
 - 心身ともにボロボロ、負担が大きく、持続可能ではない…



倶知安厚生病院も厳しい…

2024年5月27日、羊蹄医師会総会

「冬期の救急患者逼迫における羊蹄医師会
から各自治体や観光協会、宿泊施設への要望
について」